

令和4年度社会福祉法人渡島福社会事業報告書

基本理念

「福祉は人なり」

人と人とのふれあいの中で

- 1 一人ひとりの人権を尊重し、笑顔あふれる快適な生活ができるよう支援します。
- 2 人にやさしい豊かな心で、地域の人々から必要とされる法人を目指します。
- 3 社会福祉の信頼ある担い手として、永続的に活力のある経営に努めます。

基本方針

「福祉の里」づくり

- 1 ご利用者さま、地域に対する基本姿勢
 1. ご利用者さまの人権を尊重し、「優しい心」で接し自分らしさを実現するための支援をいたします。
 2. より良いサービス提供を目指し、福祉職員としての日々専門性を追求し質の高い援助を行います。
 3. ご利用者さまとの対等な関係のもと、必要なサービスを適切に提供するとともに、意見や苦情は真摯に受止め、改善・向上に努めます。
 4. 心身ともに健康で生きがいを持って生活していただけるように、清潔で快適な住環境の整備とプライバシーの保護に努めます。
 5. 地域から愛される施設づくりを目指し、公益性をもって地域社会に貢献します。
 6. 私達は法令を遵守して、積極的に情報公開に努め、社会に信頼される法人であり続けます。
- 2 人材育成に対する基本姿勢
 1. 「出会い・経験・気付き」を根源に成長してゆく人材の育成に努めます。
 2. 研修による専門知識の修得と、その実践により人間性を育成推進いたします。
 3. 福祉従事者として成長できるような研修計画の構築に努め、地域から必要とされる人材を育成いたします。
 4. 専門家としての自覚を持ち、創造力と向上心を持った職員を育成します。
 5. 職員処遇の向上、福利厚生の一環として取り組みを行い、働き甲斐のある職場づくりに努めます。
- 3 業務改善に関する基本姿勢
 1. 安全、安心、快適に過ごせるよう常に環境改善に努めます。
 2. 業務内容(やめる、減らす、変える)を常に検討し、効率化を図ることによりサービスの向上を目指します。
 3. 介護ロボットの検討を前向きに進め、介護負担の軽減、職員のけが等の防止を目的とした業務検討を推進します。
 4. ICTの活用によりサービスの向上、業務改善を推進します。
 5. 第三者評価受診でサービスの質の向上を目指します。
- 4 経営資産(資金)に対する基本姿勢
 1. ご利用者さまに対して
 - (1) ご利用者さまの安心・安全かつ快適な生活環境整備に努めます。
 2. 職員に対して
 - (1) 職員一人ひとりが仕事を通じ、喜びと生きがいを感じることができる安全で健康的な職場づくりを行います。

3. 社会に対して

- (1) 情報の適切かつ積極的な発信・開示を行い、透明で健全な事業運営を行います。また、災害に対し地域と連携し、防災拠点としての役割を果たします。

令和4年度事業の執行に当たっては、社会福祉法人としての役割と当法人の基本理念「福祉は人なり」のもと、中期基本方針を念頭に、事業計画に基づき、施設利用者処遇の充実はもとより職員の資質向上と施設特性を生かした地域への貢献を次のとおり実施した。障害者支援施設(更生部・療護部)は障害者総合支援法、高齢者関連事業所(特別養護部・デイサービスセンター)は介護保険法に基づき、個別支援計画の策定や利用者との契約等を適正に推進した。また、特別養護部においては社会貢献の一環として、利用者負担軽減事業及び短期入所事業を実施し、居宅介護支援事業所(ケアプランセンター)においては、在宅生活の充実を目標に利用者に対し適切な支援を行った。

1 施設利用者に対する処遇の充実強化

介護・医療・リハビリテーション等において、適切にサービスを提供するとともに、諸行事については新型コロナ感染状況を判断しながら可能な範囲内で実施し、毎日が明るく、楽しく、充実した生活が送られる様に支援をした。また、特別養護部において、科学的介護推進のためICT機器の導入により、ケアの質の向上に取り組むとともに、感染症防止対策のため、簡易陰圧装置設置を適所に導入し万全を期した。さらに、「虐待防止・権利擁護委員会」「事故対策委員会」「リスクマネジメント委員会」「感染症対策委員会」「苦情処理委員会」「個人情報保護委員会」「給食運営委員会」「施設利用者居宅復帰検討委員会」等の積極的活動により、人格尊重と人権擁護の更なる強化を図った。

2 健全財政の確立と財産の保全

職員の徹底した経費節減と施設利用希望者の適切な対応に努めた結果、適正かつ安定した施設運営を行うことができた。また、施設建物等の早期補修及び年次計画に基づき、各種機器類の導入または更新を行い、その保全と維持管理については細心の注意を払い、複合施設としての特性を生かし効率的な予算執行を実施した。

3 施設職員の資質向上と健康保持

「福祉は人なり」の理念のもと、慈愛・礼接を重んじる職員の育成に努め、特に社会福祉施設職員として、常に相手の身になった、キメ細かな介助・介護・医療の必要性を再認識させるため、法人の理念、基本方針や倫理綱領、職員行動基準及び利用者処遇実施要領等が記載されている「施設運営の手引」並びに、当法人作成の「介助・介護のためのハンドブック」を職員研修及び自己研修に利用させるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リモートによる職場内研修等を中心に実施した。介護福祉士など各種資格取得の奨励はそのままとし、出来る範囲の中で実施し、職員の資質向上に努めた。また、職員の健康と利用者の健全で快適な生活は相関するものと考え、年2回の健康診断並びに特定保健指導の実施により、健康管理事業の充実と、人間ドックの積極的受診を推進

し、利用者処遇向上に充分反映されるように配慮をした。

4 施設の整備と施設周辺環境整備

温泉を利用した設備を兼ね備え恵まれた環境の中で、利用者が日々快適で生きがいのある生活が出来る様、ふれあい広場や付帯施設等の整備を図るとともに、施設周辺の美化に努め、充実した潤いのある生活が送られる場にふさわしい環境整備を図った。

詳細については、以下のとおりである。

記

1 会議

(1) 理事会の開催

年 月 日	回数	出席者数	議 案
令和4年 5月26日	第1回	人 8	令和3年度社会福祉法人渡島福社会事業報告及び各事業所拠点区分会計収支決算書の承認についてほか議案1件・報告1件
令和4年 9月21日	第2回	8	令和4年度社会福祉法人渡島福社会各事業所の事業運営(職務執行状況)報告についてほか報告1件(書面による議決)
令和4年 12月20日	第3回	8	社会福祉法人渡島福社会給与規程の一部改定(案)についてほか報告3件(書面による議決)
令和5年 3月29日	第4回	7	令和4年度社会福祉法人渡島福社会各事業所拠点区分会計収支補正予算(案)についてほか議案3件・報告2件

(2) 評議員会の開催

年 月 日	回数	出席者数	議 案
令和4年 6月23日	定時	人 7	令和3年度社会福祉法人渡島福社会事業報告及び各事業所拠点区分会計の計算書類等の承認についてほか議案1件

2 行事の開催と実施

(1) 令和2年2月より当法人では新型コロナウイルス感染予防対策として当診療所外来患者の受入れ停止、利用者家族の面会規制、関係機関との来所規制等を実施。

令和4年度中の行事においては屋外及び外出に伴う行事は一部中止した。

(2) 屋内で実施できる行事として大相撲星取、縁日、秋の味覚まつり等についてはできる範囲内で実施。さくらまつり、クリスマス等においても食事のみ提供した。

3 研修の実施

職員の資質向上を図るため、自主研修をはじめ各種研修会等に参加した。

(1) 自主研修(所内)

(18回)

実施年月	研修名	講師等	出席者数
令和4年4月	各部事業計画予算等研修会	理事長・部長1名	102人
令和4年4月	高齢者サービスの接遇(オンライン動画研修)	講師4名	88
令和4年5月	虐待防止(オンライン動画研修)	講師5名	88
令和4年6月	身体拘束(オンライン動画研修)	講師4名	88
令和4年7月	プライバシーの保護の取り組み・倫理・コンプライアンス(オンライン動画研修)	講師4名	88
令和4年8月	アサーティブ・人間関係を円滑にするために(オンライン動画研修)	講師3名	87
令和4年9月	事故発生又は再発防止(オンライン動画研修)	講師2名	85
令和4年9月	介護員専門研修 I 内部報告会	内部1名	10
令和4年10月	感染症対策(オンライン動画研修)	講師3名	86
令和4年11月	非常災害時の対応(オンライン動画研修)	講師2名	86
令和4年12月	障害の理解(オンライン動画研修)	講師3名	86
令和4年12月	口腔ケア研修	講師1名	4
令和5年1月	言語コミュニケーション(オンライン動画研修)	講師2名	84
令和5年2月	ターミナルケアに関する研修(オンライン動画研修)	講師2名	83
令和5年2月	口腔ケア研修	講師1名	4
令和5年3月	介護予防(オンライン動画研修)	講師2名	83
毎月(4回)	感染症対策委員会研修	内部1名	38
年4回	衛生委員会研修会	内部4名	32

(2)道内研修

(12回)

実施年月	研 修 名	主 催	開催地	出席者数
令和4年4月	北海道サービス管理責任者実践研修	特定法人	リモート	人 1
令和4年5月	北海道サービス管理責任者実践研修	特定法人	リモート	1
令和4年6月	北海道サービス管理責任者実践研修	特定法人	リモート	1
令和4年8月	感染予防対策研修会	北海道	リモート	1
令和4年9月	介護職員専門研修Ⅱ	道社協	リモート	4
令和4年10月	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	道経営協	函館市	1
令和4年10月	相談支援従事者研修(サービス管理責任者)	特定法人	リモート	1
令和4年10月	苦情解決システム研修会	道社協	リモート	1
令和4年11月	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習	全老社協	リモート	1
令和4年12月	魅力ある職場づくり・働きやすい職場づくりセミナー	鹿部町	同庁舎	2
令和5年2月	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(施設従事者等研修)	北海道	リモート	3
令和5年3月	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(施設従事者等研修)	道南老施協	リモート	5

4 生活環境の整備及び安全安心のための機器点検整備

利用者処遇の充実を図るため、施設建屋と付帯施設の補修管理・施設内外の環境改善・処遇機器等の購入整備を図るとともに、防災機器、避難器具等の点検整備に万全を期した。

(1) 施設整備の主なもの

実施年月	工 事 名 ・ 物 品 購 入 名	金 額
令和4年4月	温泉スケール抑制剤注入事業	円 968,000
令和4年4月	ななかまど1階玄関扉改修工事	363,770
令和4年6月	あいの家外壁改修工事	594,000
令和4年7月	ななかまど屋根外壁塗装工事	3,268,820
令和4年7月	デイサービス浄化槽放流ポンプ及び調整ポンプ交換工事	209,000
令和4年10月	高温泉水中ポンプ購入	4,400,000

実施年月	工事名・物品購入名	金額
令和4年10月	屋上ペントハウス漏水修繕工事	円 495,000
令和4年12月	温泉送湯用ポンプ購入	759,000
令和5年1月	身障用浄化槽ブロワー更新工事（補助金事業）	3,080,000
令和5年1月	デイサービスパネルヒーター系統温度指示調節計取替工事	220,000
令和5年1月	2階西廊下暖房機器ファンコン交換工事	330,000
合 計		14,687,590

(2) 管理上の主なもの

- ・ 電気設備の保安管理を実施
- ・ エレベーターの保守点検を毎月実施
- ・ 浄化槽の保守点検及び水質検査を毎月実施
- ・ 防火設備（警報装置・非常用通報器等）の保守点検を年2回実施
- ・ 渡島リハビリ自衛消防隊員の防火教育と昼間・夜間における消火避難訓練を利用者と共に実施
- ・ 建物維持管理のため点検と消防設備の自主点検を毎月1回実施
- ・ 飲料用貯水槽の清掃、消毒、水質検査を実施
- ・ ボイラーの定期点検、修理、検査を実施
- ・ 大気汚染測定検査を年2回実施
- ・ 自動ドア保守点検を年2回実施

5 職員の充足と処遇の改善

職員の充足については、年度内退職者8名に対し新規採用者を2名充足したほか、常に定数以上の職員構成を確保するよう鋭意努力してきた。

(1) 職員の充足状況（表1）

(2) 処遇改善事項

- ・ 職員一斉の健康診断を2回実施
- ・ 職員の精密健康診断（日帰り人間ドック）を実施
- ・ 直接処遇職員の腰痛診断を実施
- ・ 50才以上の職員に対して月例検診を実施
- ・ 心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施
- ・ 全国健康保険協会の保健事業である特定保健指導（健康サポート）を実施
- ・ 職員研修事業の充実を図った
- ・ 福利厚生事業の充実を図った
- ・ 介護職員等の処遇改善のため、特別手当を支給した

6 施設の安全検査

事業計画に基づき適正運営に努めてきたが、その概要は別紙付帯設備管理上の主な契約内訳表（表20）のとおりであり、その遂行に当たっては、次のとおり各行政機関の現地検査を受けたものである。

(1) 現地検査内容

実施時期	実施内容	行政庁	人員
令和4年7月6日 令和4年7月13日	ボイラー設備性能検査	函館労基署	2 ^人
令和4年8月30日 令和5年3月6日	煤煙測定検査	環境科学研究所	4
令和4年9月16日	受水槽及び高架水槽検査	環境科学研究所	4
令和4年10月26日	簡易水道水質検査	環境科学研究所	1
令和4年12月14日	消防査察	鹿部消防署	3

7 地域社会との連携強化

令和2年2月より当法人では新型コロナウイルス感染予防対策として当診療所外来患者の受入れ停止、利用者家族の面会規制、関係機関との来所規制等を実施。地域との交流行事、小中学校との交流行事、ボランティア等の受入れについては中止した。

8 その他

(1) 寄附金 4件 150,000円